-会員企業対抗ゴルフ大会を開催**実>波過ぎ陽気の中プレー**

ダブル ノブルスゴル 2月15日、 な フ協会との共催で、

会員企業21社から計50名が参加し当日は寒波の狭間で春の陽気の中、寒さ厳しい時期の開催でしたが、フ倶楽部にて開催しました。

産市況

まず

移、

不動産マ-

定、「クラ し順位を集計 スの合計ス 2 名 1 ア 方 式 で ル ペ

ま

U



優勝した橋本さん(左)と加藤さん(中)、

チ

が 優勝した橋本さん(左)と加藤さん(中) 会 加古川市ゴルフ協会井岡理事長(右)

頭杯を手にしました。 の橋本眞人 ウン商事㈱ 定、「クラ

勝因を語りました。いくらい良いスコアを出せた」 いいい た が 、 さ が、前半八が、前半八 -ハーフが今までになら「初参加で緊張して لح

ります。ご案内を楽しみにお待ち回は8月ごろに開催を予定しておの応援を目的とするこの大会、次ルフの振興、市内2つのゴルフ場会員相互の交流と親睦、またゴ

金融最 ・不動産業部会を開催-4新の情報を学ぶ

況と為替・金利動向について」 株三井 た講演会を開催しました。 鈴木氏より Ė を講師に 友銀行 野産マーケッ-不動産業界の 5回例 の鈴木翔氏 「最新の不動 会と トの لح

イント、神におけるトst クスとして、 らなどについて 主なト . ピッ Ľ エリアのマーケットックスとその注目ポ 7 説 がありま.

ッた動イに ク。向ンお



無に触れました。 参加者は30名 がありました。特に、経済にも大 がありました。特に、経済にも大 がありました。特に、経済にも大 がありました。特に、経済にも大 がありました。特に、経済にも大 がありました。特に、経済にも大 ル 円 .推移

めました。 参加者は21名開催し、出席会員相互の親睦を深くといる。 終了後は東京田村にて懇親会を

たうえでパートナー れている点につ れている点につ もそれぞれの長所・ たうえでパートナー

ーそれぞれの長所・短所を理解したうえでパートナーシップを構築すれば売上向上や経費削減、職場でました。 Aーが得意なこと、人でました。 Aーが得意なことができると述がしていくことが大切だと説明し、かしていくことが大切だと説明し、がしていくことが大切だと説明し、だが、活用できる範囲で楽しく使だが、活用できる範囲で楽しく使 ってほ. と述べまし した。

名強す

* だ ょ IJ

٠

環境保全研究会

異業種交流会

−−月度定例会を開催 方

C

O2削減の先進事例を学ぶ

視察研修会を開催

視察研修会を開催し、月2日、エコファクロ

西播環部

化 し て お ー は 〜」と題し (高野敦子) ・夏うに講演会を行いまっ未来を切り拓く新しいます。 Ξį 現代ビジネス学科の 氏を講師に、 兵庫大学 現代ビ 「人間× 学科の教 切代ビジ まい り知た。

てしまうり、人化しており、人上ードで進 - は凄まじ

か一般家庭約40中でも高効率がループに分かれ

9 発

動画を視聴くや事業内容

た。



会の視察研修会を開催し、会の視察研修会を開催し、会社の概要や事がありました。 することでCO 化燃料)を製造 たRPF(固形 化燃料)を ることや、 00世帯分の電力使用量に電設備の発電量が一般家庭

廃棄物をリ

サ

イ

ク

U

相当す



調されました。 参加者は10名 はリチウムイオン電池が混在してはリチウムイオン電池が混在していること等だとされているため、理場で火災が相次いでおり、原因理場で火災が相次のでおり、原因 て因処

また、 近 ました。

サックス響く 新春懇親会を開催 、懇親会

催 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。 プラザホテ し来商

ま賓工

総意にて承認されました。 選出が上程され、会場参加5名の 奇和7年度会長所信、役員予定者 春懇親会を開催しました。議案は

22 日 (

次年度役員を選出 次年度役員を選出

度役員(敬

称略

順不同)

失敗を次へ活かすために

2月研修例会を開催

新春懇親会を開催

*

体

だよ

IJ

\Pi

•

*

•

•

•

•

した。 親会~共に未来[、]

 \wedge

を開催

初志貫徹からつながる「飛」

本松富平畠新永中恒田高佐佐小興窪片大伊赤髙山原杉岡井松山竹岡本士田山田井野吉中松藤伯林梠田田橋東木原本田浦田本下本内卓速原光聖大達二宏健志正隆賢正健寛裕優龍佳裕哲元健光智渉一也人満貴子 也郎瑛司行巳典人樹二之子希弘祐一 記司昭哉 真

した。自身の失敗な過程や学びを共有_

自身の

これまで関わり

、経営者にとっても示受けた経緯、信頼回復わりのなかった人々かの失敗から得た教訓や、の失敗から

らの支えを受けた経緯

それを乗り越えた語っていただき、

だ経験を赤裸々になる報道に苦しんシングや事実と異

₹ 加古川商工会議所青年部

木本氏(前列中央)とともに記念撮影

ラブルによるバッ約2年半前の-

ット

しました。 というテ 敗から学ぶ人間力のポテンシャ

マで

2月例会を開

講師に「令和の

しくじり先生~

〇木本武宏氏

2月4日、

開催しま

ま 懇 G

「令和7

総会終了

後は来賓、

0 B

0

善積会長の年頭の挨拶に続き、 書様会長の年頭の挨拶に続き、 をがスタートしました。私たちの 月のミモザリー ス作りを担当者 が説明しました。 が説明しました。 が説明しました。 が説明しました。 が説明しました。 が説明しました。 していただきま した。 をかに、楽しい時間となりました。 やかに、楽しい時間となりました。 を加者の皆様の素敵な笑顔で閉会 を加者の皆様の素敵な笑顔で閉会 をかまりまりた。 ンの親



本年もよろしくお願いします

開会は現役メールできました。本年もよろしくお願いいたした。本年もよろしくお願いいたした。本年にふさわしい華やかな彩りが添なられました。長谷川知南氏による筆文字パフォーマンスでは、会長の好きな「飛」の一文字をメインに迫力のある作品が完成し、会場が沸きました。 場が沸きました。 した。本年もよろしくお願いいたした。本年もよろしくお願いいたともにの紹介も行い、多くの方とともにの紹介も行い、多くの方とともにの紹介も行い、多くの方とともにある事文字パフォーマンスでは、会場が沸きました。

また - の す。年 紹 か

とって、

多くの学びと気づきを得

会となりま

U

た。

メンバ

全員に

られた有意義な例会となりました。

の少ない

分野の話を聞く貴重な機

ざっくばら

んに交流

普段接点 木本氏. 唆に富む内容で の方法など、

した。

講演後の懇親会で

は、

لح

5す。本年

(地域活性委員会

委員長

佐藤正巳)

を加者のようでかに、 を加者のようである。 後した。 会た和にさン

苗 37

会長